

菅原通濟 すげのほろ 隨筆家。明治二十七年二月十六日東京生れ、昭和五

十六年六月十二日歿（八六四—一九八一）。本名通濟みちずけ。江ノ島電気鐵道、日

本自動車道各社長。戦後民主黨幹事長から若田内閣成をいさむる政界の重

幕と稱はれた。古美術蒐集の常盤山文庫理事長、賣春對策審議委員会長

（二重道放協會會長）とこゝと著名者。

著書『ちやうせん狸』（昭和二十六年七月五日日本出版協同株式會社）、

『通濟放談—群魔頓息』（昭和二十六年十月二十日日本出版協同株式

會社）、『カノヒは叫ぶ』（昭和二十六年十一月十日日本出版協同株

式會社）、『とんびの舞』（昭和二十七年七月二十日要書房）、『や

まゆん馬』（昭和二十八年六月二十五日實業之日本社）、『隨筆家菅原』

（合著、昭和二十九年二月五日日本出版協同株式會社）、隨筆『丹那

とんねる』（合著、日本国有鉄道新橋一善々務所編、昭和二十九年十

二月一日作品社）、『ちよこ眞利』

（昭和二十九年二月二十日注吉書房）、

『ゆめ』版（たけ）（昭和二十一年一

月二十日高風館）、コロタンズで

『』（合著・平野成馬雄編、明治二

十二年二月二十日松道閣）、レット

文庫』（、『ちよこの味』（昭和二十一年十月十五日常盤山文庫出版

部）、『東曲の懐話』（合著・京都新聞編輯集行編、昭和二十一年十一

月二十日河出書房）、河出新書』（、『ちよこ悦』（昭和二十二年八月五日

東曲文朗社）、『馬鹿と利巧』（合著、昭和二十四年七月一日朝日書

房）、『花小風』（昭和二十五年九月二十日東洋書房）、『菅原公』（合



著・菅原春雄編、昭和四十年六月、二十五の國聲山文庫「とき」の佳什
録」()、
「明治の洋画と明治人の意識」(今著・動向社編集部編、昭
和四十一年五月十五日動向社)、
「明治の精神」(今著、昭和四十
一年一月二日明治書局・明治書局出版会編刊)等。